

令和4年10月13日

第3学年保護者様

加古川市立別府中学校

校長 山下善弘

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果について

(令和4年度 4月19日 実施 中学3年生対象)

1 学力面について

※ ○…すぐれている点 ●…課題となる点

【国語科】

- 文脈に即して漢字を正しく書くなど、知識を問われる問題については正答率が高い。
- 事象や行為、心情を表す語句について理解できている生徒が多い。
- わかりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと、表現の技法について理解することが苦手な生徒が多い。

【数学科】

- 基本的な方程式などの問題はよく理解できていて高い正答率を示している。
- 多数の観察や多回数の思考によって得られる確率の意味を理解している生徒が多い。
- 問題解決の方法や筋道を立てて説明するなどの記述式問題については苦手な生徒が多い。

【理科】

- 基本的な計算や関数、図形の角度などの問題はよく理解できていて高い正答率を示している。
- 与えられたデータの中央値を求めたりして資料を読み取ることができる生徒が多い。
- 記述式問題については無回答も多く、問題解決方法や根拠を数学的な表現を使って説明する力に課題がある。

※どちらの教科も概ね全国平均並みの正答率でした。

2 生活面について

※数値は「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」を合わせた割合（％）

主な質問事項	本校	兵庫	全国
学校に行くのが楽しいと思う	かなり上回る	80.5	81.1
人が困っているときは、進んで助けている	かなり上回る	88.3	88.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	かなり上回る	96.1	95.1
友達と協力するのは楽しいと思う	かなり上回る	93.1	93.3
1, 2年生の時の授業で、コンピュータなどのICT機器を1週間に1回以上使用した	かなり上回る	35.0	33.4
道徳の授業では、自分の考えを深めたり話し合ったりする活動に取り組んだ	かなり上回る	82.2	86.2
友達の話や意見を最後まで聞くことができ、その上で自分の考えをしっかり伝えられた	かなり上回る	81.5	83.7
授業では、課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいた	かなり上回る	78.2	81.0

話し合う場を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている	かなり上回る	75.1	77.8
自分には、よいところがあると思う	やや上回る	76.5	76.2
携帯電話やスマートフォンの使い方について家の人との約束を守っている	やや上回る	67.5	67.9
学校の授業以外に2時間以上学習している(月～金)塾や家庭教師などを含む	やや上回る	44.9	41.7
新型コロナウイルス感染拡大で休校していた期間中、計画的に学習を続けられた	ほぼ同程度	36.5	37.6
新型コロナウイルス感染拡大で休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた	ほぼ同程度	37.4	38.4
普段(月～金)PC、携帯、スマートフォンを使ったゲームを3時間以上している	やや下回る	41.7	42.3
塾に行ったり家庭教師の先生に教えてもらったりしている	やや下回る	48.5	55.4
授業では、各教科で学んだことを生かしながら新しいものを作り出そうとした	やや下回る	50.4	59.5
総合的な学習の時間では、自分で情報を集めたりする学習活動に取り組んでいた	やや下回る	55.0	70.2
朝食を毎日食べている	やや下回る	92.6	92.8
将来の夢や目標を持っている	やや下回る	66.8	68.6
家庭には、たくさん本がある(およそ100冊以上)雑誌や教科書は除く	やや下回る	24.2	24.0
2時間以上学習している(土、日)塾や家庭教師などを含む	かなり下回る	56.0	53.5
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	かなり下回る	78.0	79.8

【優れているところ】

学習面では、本校の結果は、全国の平均正答率とほぼ同程度である。「知識・理解」面が優れ、数学の基本的な計算や国語の基本的な文を理解する力がある。

生活面では、家庭・地域・学校において、周りに対する思いやりが大切だと感じており、いじめは絶対に許されないという意識も高い。また、多くが学校・地域においても、周りとは協力して取り組むことに達成感・充実感を感じており、穏やかに学校生活を送れている生徒も多い。また、携帯やスマートフォンの所有率は高いが、家庭内でのルールを守って使用できている生徒が多いということに安心した。

【課題とされること】

各教科とも、「応用・活用」面で課題が見られる。物事を論理的に考え、問題解決していく力に課題があるように思える。選択問題や単語で短く答える問題には正当できるが、理由などを聞かれて記述式で答えなければならない問題に文章で答えるということが苦手である生徒が多い。将来の夢や目標を持っていると答えた生徒がやや少ないのが残念なところ。また、毎日同じくらいの時間に寝てなかったり、朝食を毎日食べていなかったりする生徒が少なくないのも心配なところである。

3 今後の取り組みについて

- 生徒の興味・関心等に応じた学習課題を設定し、ICTなどを有効に使用するなど、よくわかる授業改善の工夫をしていきます。
- 自分の意見をまとめて表現する機会を設け、基本的な内容の学習からより発展的な内容まで、問題解決できるよう周りと意見交換できるような授業形態の工夫を図っていきます。
- 個々に応じた学習指導を工夫し、放課後の時間を利用した補充学習を行っていきます。
- 将来の夢や目標に向けてたくましく進んでいける進路指導を目指します。
- 十分な睡眠や朝食の摂取など規則正しい生活習慣・食習慣の確立の大切さを家庭と学校が共有できるようにしていきます。